2026年11月13日
作成者　U.M.



Sustainable Report No.176

すべての犬猫が最後まで幸せに暮らせる社会へ

Human Network OGAWA

サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、
それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

© OGAWA-DENKI.Co.,LTD.

社会課題 ペットを取り巻く現状

■ 課題の現状／経緯／影響

- ペットブームが拡大する一方で、現在も飼育放棄などにより自治体に引き取られる犬や猫も多く、2024年度には**39,409頭**が引き取られ、そのうち**6,830頭**が処分された。処分数は減少しているものの、現在も処分される犬や猫は後を絶たない。
- ペットを飼う人がいる一方で、飼育にかかる費用や世話の大変さ、病気・高齢化などを十分に考えずに飼い始めたり、飼い主の生活環境の変化より飼い続けられなくなるといった理由から、飼育放棄につながるケースがある。
- 飼育放棄された犬や猫が増えることで、保護団体や自治体の飼育費・医療費・人員確保の負担が増え、保護活動の継続が困難になる可能性がある。



■ 犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況（全国）

（参考）

年度	犬			猫			合計			殺処分率
	引取り数	処分数		引取り数	処分数		引取り数	処分数		
		返還・譲渡数	殺処分数		返還・譲渡数	殺処分数		返還・譲渡数	殺処分数	
平成16年度	181,167	25,297	155,870	237,246	4,026	238,929	418,413	29,323	394,799	94.4%
平成17年度	163,578	24,979	138,599	228,654	3,936	226,702	392,232	28,915	365,301	93.1%
平成18年度	142,110	28,942	112,690	232,050	4,427	228,373	374,160	33,369	341,063	91.2%
平成19年度	129,937	29,942	98,556	206,412	6,179	200,760	336,349	36,121	299,316	89.0%
平成20年度	113,488	32,774	82,464	201,619	8,311	193,748	315,107	41,085	276,212	87.7%
平成21年度	93,807	32,944	64,061	177,785	10,621	165,771	271,592	43,565	229,832	84.6%
平成22年度	85,166	33,464	51,964	164,308	11,876	152,729	249,474	45,340	204,693	82.0%
平成23年度	77,805	34,282	43,606	143,195	12,680	131,136	221,000	46,962	174,742	79.1%
平成24年度	71,643	33,269	38,447	137,745	14,858	123,220	209,388	48,127	161,847	77.3%
平成25年度	60,811	32,092	28,570	115,484	16,320	99,671	176,295	48,412	128,241	72.7%
平成26年度	53,173	31,625	21,593	97,922	18,592	79,745	151,095	50,217	101,338	67.1%
平成27年度	46,649	29,637	15,811	90,075	23,037	67,091	136,724	52,674	82,902	60.6%
平成28年度	41,175	30,500	10,424	72,624	26,886	45,574	113,799	57,386	55,998	49.2%
平成29年度	38,511	29,955	8,362	62,137	26,967	34,854	100,648	56,922	43,216	42.9%
平成30年度	35,535	28,032	7,687	56,404	25,634	30,757	91,939	53,666	38,444	41.8%
令和元年度	32,561	27,126	5,635	53,342	25,936	27,107	85,903	53,062	32,742	38.1%
令和2年度	27,635	24,199	4,059	44,798	25,385	19,705	72,433	49,584	23,764	32.8%
令和3年度	24,102	21,518	2,739	34,805	23,112	11,718	58,907	44,630	14,457	24.5%
令和4年度	22,392	19,658	2,434	30,401	20,471	9,472	52,793	40,129	11,906	22.6%
令和5年度	19,352	17,338	2,118	25,224	18,426	6,899	44,576	35,764	9,017	20.2%
令和6年度	17,399	15,427	1,964	22,010	17,079	4,866	39,409	32,506	6,830	17.3%

（注）16,17年度の犬の引取り数は、狂犬病予防法に基づく抑留を勘案した推計値である。

出典：環境省　犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況

▶NEXT：取り組みの現状と課題

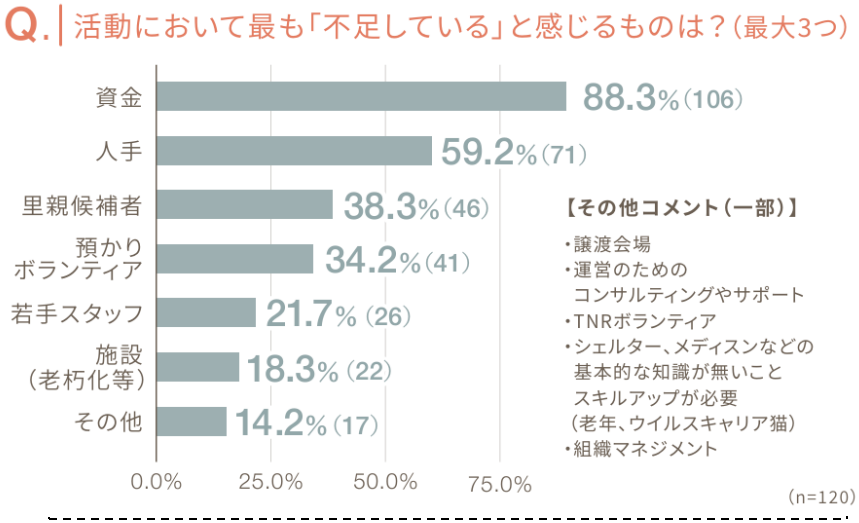
© OGAWA-DENKI.Co.,LTD.

取り組みの現状と課題

■ 実行者／解決事例／残る課題

- 自治体や動物保護団体が保護・譲渡活動を行う一方、**amazonやカインズなどの民間企業が譲渡会の開催場所の提供や情報発信を支援**している。
- カインズでは店舗を譲渡会の会場として提供し、amazonは保護団体の情報発信を行うことで、保護犬・保護猫と新しい飼い主をつなげている。
- しかし、**譲渡活動のみでは飼育放棄や望まれない繁殖を根本的に減らすことは難しい。**また、保護活動を続けるための**人員確保・資金・保護場所の不足が常態化**している。そのため飼い主が最後まで責任を持って飼育するための正しい知識や意識を広める必要がある。

■ 活動において最も『不足している』と感じているもの



出典：犬猫保護活動実態白書2026



▶NEXT：課題の原因と目指す社会

© OGAWA-DENKI.Co.,LTD.

企業展望

課題の原因と目指す社会

■ 残る課題の原因／理想／企業施策

- ペットを迎える前に、飼育にかかる費用や手間、将来の負担まで具体的に考える機会をペットショップ側が設けるなど、**無責任にペットを飼いはじめる人を減らす取り組みが必要**である。
- 保護活動には食料・医療・施設維持など継続的な費用が生じ、寄付や助成金のみでの安定した運営は難しい。また、保護や通院、譲渡先との調整、譲渡後のアフターフォローなど多くの業務が必要で、継続して活動できる人材確保には課題が残る。
- ブリーダー等による過剰繁殖や不適切な飼育を抑えるため、2013年の動物愛護管理法改正では自治体による業者からの引取拒否が規定された。また、2021年には数値規制が導入され、**ブリーダーの飼育頭数や犬猫の繁殖年齢に制限が課された。**こうした段階的な法改正や支援体制の拡充により、処分数は減少してきている。
- 処分の対象とされる犬猫をゼロにし、飼い主が見つからないという理由だけで命を失う犬猫をなくしたい。特定の個人や企業、保護団体に負担を集中させるのではなく、**行政を含めた社会全体で保護活動を支える仕組みを整え、命を守り続けられる社会を築く必要がある。**
- 行政が主体となり保護支援する仕組みを構築し、企業もそれぞれの強み（譲渡会の会場や物資提供、保護団体への寄付、社員によるボランティアなど）を活かして参画することで、保護団体の負担軽減につなげていく。**誰もが取り組みに気軽に参加できるようにすることが、持続可能な保護支援体制を構築し、課題解決に向けた第一歩となる。**





本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

© OGAWA-DENKI.Co.,LTD.

■ 参照・引用資料

- 環境省, 統計資料「犬・猫の引取り及び負傷動物の収容状況」, 2026年10月30日参照（https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/statistics/dog-cat.html?utm_source=chatgpt.com）
- 環境省, 犬猫との共生社会を推進するプロジェクト「つなぐ絆、つなぐ命」の創設及びAmazonとのパートナーシップの締結について | 報道発表資料, 2021年08月30日 (https://www.env.go.jp/press/109948.html?utm)
- カインズ, 保護犬・保護猫と新しい家族をつなぐカインズのオンラインマッチングサービス「しっぽの出逢い」がスタート　出逢いを創出し、新しい家族とのつながりを育む, 2024年4月8日（https://www.cainz.co.jp/news/8149/）
- 犬猫生活, 「全国 犬猫保護活動 実態白書2026」を公開, 2026年9月8日 （https://corp.inuneko-seikatsu.co.jp/report/report2026/）

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先

Human Network OGAWA

小川電機株式会社

〒545-0021　大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥 当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

© OGAWA-DENKI.Co.,LTD.